

NAKANOSHIMA CLUB

# 中之島倶楽部

[会員誌]

2009 Vol.5

もっとあなたのプライベートバンクへ。

JAバンク大阪  
中之島倶楽部

JAバンク大阪(JA/信連)  
<http://www.jabankosaka.or.jp/ja>

ゆるり湯の旅

よしがうら

葭ヶ浦温泉

関西老舗物語

太閤園 淀川邸

特集

景色も美味しい食事処



# もっとあなたのプライベートバンクへ。

J Aバンク大阪中之島倶楽部は、皆さまが日頃からお悩みの相談、

土地・建物の有効活用、金融資産の運用などに関する

様々なご相談に、専門のスタッフが応える

会員制のプライベートバンキング・サロンです。

当倶楽部では、お客様のニーズを的確に把握し、

最適なご提案をさせていただくため、担当者が責任を持って

継続的にご対応いたします。

また、安心してご相談いただくためのプライバシーに

配慮したコンサルティングルームや、ご自由にお寛ぎいただける

ラウンジなどもご用意しております。

J Aバンク大阪から最高のサービスをお届けします。

ゆるり湯の旅  
葎ヶ浦温泉（石川）……………2

関西老舗物語  
太閤園・淀川邸（都島）……………8

〈特集〉  
景色も美味しい食事処……………14

中之島散歩  
キダ・タローさんが訪ねる、  
中之島の名曲めぐり……………24

手土産つれづれ  
『上方の味 神宗』塩昆布（淀屋橋）……………28

手業の美に出会う  
『能勢菊炭』……………30

大阪地名の謎 其の五……………32  
ドクターに聞く  
「白内障と緑内障」……………34

ばばっと健康法  
「腰に不安を抱えないための、  
体のバランスを整えるストレッチ」……………35

中之島倶楽部ご相談事例  
その1 遺言書を作成された事例……………36

その2 駐車場の有効活用事例……………40

プレゼント／アンケートのお願い……………44



日本の茶道を支える、気品ある炭

# 能勢菊炭

\*名月窯 (豊能郡)



周りの皮が薄く、中心から菊割れが始まっているものが、良いとされている。まるで工芸品のように美しい。

菊の花のような断面。  
炉の中で一本の木を表現するとも言われるその優美な姿は、  
室町末期から江戸時代にかけて、多くの茶人に愛され、  
千利休や豊臣秀吉も好んで愛用したといわれている。  
歴史ある能勢菊炭を焼き続ける名月窯を訪ねた。



(右) 材料となるクヌギ。成長の止まる冬の間切る。春になれば切り株からまた新しい芽が出てくる。  
(左) 空気を送ると、赤く燃え上がる。火爆ぜしないことも、茶席で重宝される理由の一つ。

炭を使ったインテリアなども考案している小谷さん。炭焼きのない夏場に、オブジェ作りを行っている。



火を入れている間は、昼夜を問わず火の番をする。立ち上がる煙の色や量など微妙な変化で火加減を決める。



かごに入れられた飾り炭を置いておけば、見た目に美しくだけでなく脱臭効果もある。



能勢の山の中にある名月窯。この山で育ったクヌギが菊炭になる。

菊花のような割れ目が美しい切り口。燃え尽きた後にも形が崩れず真っ白な灰が残る。火付きや火持ちも良く、また燃やした時の香りも芳しい。能勢菊炭は、その気品ある姿で、日本の茶道を支え続けている。

昔から大阪府北部の能勢、豊能などで作られていた炭を池田に集め、全国に出荷したことから池田炭という名称でも親しまれている。しかし、周辺で炭を焼く窯も年々減少し、今では3カ所になってしまった。数少ない炭焼き職人である名月窯の小谷義隆さんが、その魅力や制作工程を教えてくださいました。

用いるのはクヌギのみ。85cmほどに切り分けたクヌギの木を立てて、窯の中に並べていく。上部の隙間には、ばいたと呼ばれる細枝や芝をぎっしりと詰め、火を付ける。良い炭を焼くためには、窯の中の温度を800℃ぐらいにまで上げなくてはならない。製品にする木を入れる前の段階で一度火を入れ、しっかりと温めておく。「炭出しは、100℃以上ある窯の中での作業です。終わった時には、毎回2kg以上痩せていますよ」。

火加減を調節しながら、4日間休むことなく燃やし続ける。木の水分が減り、煙が透明になったら窯の入口に蓋をして鎮火する。窯の中で冷ました後、取り出せば7割ほどに縮った、艶のある菊炭が

能勢菊炭の伝統を絶やしてはいけないと、役場を辞めて父親の後を継いだ小谷さん。



出来上がる。この一連の作業を冬の間中、繰り返す。

その日の天候や木の乾き具合によって、火加減や火を消すタイミングなど全てが変わる。そして、この能勢の風土でないと、美しい菊炭は作れないという小谷さん。「この場所で生まれたものだから、こここでずっと守って行きたいですね」。

伝統の火は、これからも絶えることなく燃え続けるだろう。



名月窯 (合同会社能勢さとやま創造館)

住所 / 大阪府豊能郡能勢町下田尻 301  
電話 / 072-737-1902  
交通 / 能勢電鉄妙見線妙見口駅より車で20分  
※訪問の際は事前に連絡してください。